

第65回日本公衆衛生学会総会（富山）へのお誘い

第65回日本公衆衛生学会総会学会長
富山大学医学部保健医学教授
鏡 森 定 信

新しい年の始まりにあたり、新年のご挨拶を申し上げますとともに、今年10月25日から富山市で開催される第65回学会総会にお越しいただきますようお願い申し上げます。

すでに、学会誌等でご案内しておりますように、本学会では、「健康な社会」をメインテーマに掲げて開催することとしております。

一昨年のことになりますが、学会長を引き受けるにあたり、健康に深く係わる社会状況にあらためて思いをはせ、WHOの健康の定義にある、身体と精神につぐ社会的 well-being に焦点を当てた学会にすることを準備委員会で提案し了承を得ました。ご承知のように、欧米の公衆衛生領域では、社会経済的あるいは地理環境的要因による「健康格差」にきわめて感度の高い反応をし続けており、近年は、これらの格差拡大が社会全体の健康水準の低下と関連することも報告されております。これについては、一昨年の松江、昨年の札幌の本学会でも一部取り上げられました。

ところで、これらの格差解消に対して「官」でなすべきことをしっかりとやることは勿論ですが、たとえば、官と民の協働による「公」の立場から施策をめぐらすことは、公衆衛生の大きな役割のひとつであると考えております。会員の皆さんが関わっておられる健康・福祉増進や環境改善等もこれに大きく貢献しています。また、都市の人口集中・大量消費、利便性、効率化や成果・競争主義は、その至当な範囲を超え事故や災害を介しての健康較差が増大する様相を呈してきていることは、皆様ご承知のとおりであります。このような状況下で、生命の安全と生活の安心に支えられた「健康な社会」を目指すべく、今回の学会のサブテーマを「安全・安心への公衆衛生からのアプローチ」と致しました。

学会内容としましては、今回のメインテーマに関しては、英国の健康政策立案のみならず国際的にも活躍されているロンドン大学のマーモット卿（公衆衛生学教授）の基調講演（邦訳付）、安全・安心な社会について広く論じていただくメインシンポジウム、それと関連したサテライトシンポジウム、教育講演、複数の学会発表で構成するミニシンポジウム、口演・ポスターセッション、自由集会、各種団体・企業の展示等からなっております。

また、今学会時に、富山県民に広く参加を呼びかけ「子供の安全・安心」をテーマに市民公開フォーラムを学会前日に開催すべく準備を進めております。

学会の会場は、富山市の中心部にある富山城の周辺で、歩いていける範囲に位置しております。富山の10月は、世界遺産五箇山、立山連峰、富山湾等などの錦秋の景観と豊穡の味覚を満喫できる時期でもあります。富山市八尾の民謡（おわら節）の胡弓と踊りのリラックスタイムや富山の自然ならびに伝統文化に関するランチョンセミナー等盛りたくさん計画しております。

多くの会員の皆様にお越しいただきますようお願い申し上げます。